

産学官連携の記録

～ 『パールズコレクション 2019 in 志摩』 を一例として～

白坂 文・向山久子・千田啓互・齋藤耕一・山口眞理・青山佐喜子

Records of Industry-Academia-Government Collaboration

～ Pearls Collection 2019 in Shima-city as an Example ～

Aya SHIRASAKA, Hisako MUKAIYAMA, Keigo SENDA, Koichi SAITO,
Makoto YAMAGUCHI and Sakiko AOYAMA

Abstract

Many universities nowadays work with corporations not only to help residence in the area but also to enhance local businesses. Osaka Yuhigaoka Gakuen College and Shima-city, Mie have reached an agreement to work together for the development of the culture, education and city design of Shima-city as well as the educational and research development of the college. In advance to reaching this agreement, the college held a fashion showing “Pearls collection 2019 in Shima” for promoting Shima-city’s Akoya pearls. The participated students presented their work though the fashion show and they had a sense of achievement. This event also demonstrated how Akoya pearls can be worn by young generations by showing the coordination with casual looks, which contributed to the local pearl business.

Keywords: Industry-academia-government collaboration 産学官連携,
Local business 地方創生, Akoya pearl アコヤ真珠,
Pearls collection パールズコレクション,
Presentation of the educational achievement 学習成果の発表

1. はじめに

本学キャリア創造学科（以下、キャリア）には、製菓クリエイトコース（以下、製菓）、ファッションデザインコース（以下、ファッション）、ブライダルデザインコース（以下、ブライダル）、ビューティーデザインコース（以下、ビューティー）の4コースがある。本学では従来、学生の学習成果は学園祭や学外実習等で発表してきた。

今回、本学と三重県志摩市は相互の連携強

化を図り相互の発展に資するため、2019年4月に包括連携協定を締結した⁽¹⁾。この協定は、本学と志摩市との文化・教育・学術・まちづくり等の分野で機能向上を図り、本学と志摩市を中心とした地方創生を推進して地域の発展及び活性化を図るとともに、生徒、学生及び教職員の教育・研究に資することを目的としている。

この協定を締結する前段階の取り組みとして、志摩市の地場産業である真珠養殖やア

コヤ真珠をPRする『パールズコレクション2019 in 志摩』（以下、パールズコレクション）を2月16日、17日の2日間開催し、メインイベントとしてキャリアのファッションとブライダルの学生がファッションショーを行った。

本学の学生は、志摩市主催のパールズコレクションにおいて学習成果の発表の機会を得ることができ、このパールズコレクションを成功させるため、キャリア4コースが取り組んだ実践記録について報告する。

2. パールズコレクションの概要

本学の参加学生は48名、教職員は9名であった。志摩市の担当部署は産業振興部水産課で、実施開催にあたり、綿密な打ち合わせを繰り返した。

パールズコレクション1日目は、ホテル志摩スペイン村ロビーを会場として、ファッションショー、ネイルアートデモンストレーション、シンポジウム、パネルディスカッションが開催された（写真1）。

また、サイドイベントとして、ファッションの教員と学生がアコヤ真珠を使用して手作りしたアクセサリーの展示や、三重県立水産高等学校による、真珠養殖をテーマにしたプレゼンテーション、パネル展示も行われた。

2日目は会場を志摩スペイン村エスパニーヤ通りに移し、ファッションとブライダル

の学生によるファッションショーが開催された。

パールズコレクション両日においてビューティーの学生は、モデルのメイクとヘア・アレンジを担当。サイドイベントとして、アコヤ真珠を散りばめたオリジナルネイル体験とハンドマッサージを行い、製菓の学生は本学特製オリジナルクッキーをシンポジウムやスペイン村のパーク内で配布した。

3. 各メディアにおけるパールズコレクションの採用状況

2019年1月15日（火）18時より、三重テレビの地域情報番組「旬感☆みえ」に本学の学生4名が生出演した（写真2）⁽²⁾。番組では志摩市の真珠事業振興とパールズコレクションを紹介し、学生が衣装を制作したり、ウォーキングの練習をしたりする風景も織り交ぜて放送された。



写真2. 三重テレビ「旬感☆みえ」に出演



写真1. パネルディスカッション

写真3は1月25日（金）に志摩市役所で行われた定例記者会見において、竹内志摩市長がパールズコレクション開催について発表した様子である。本学より東田学長と2名の学生が同席し、記者たちからの質問に答えた。また、定例記者会見後にも、伊勢新聞や伊勢経済新聞の記者から取材を受け、パールズコレクションに向けての意気込みを学生が語った。



写真 3. 志摩市定例記者会見

その他、パールズコレクションを採用したメディアについて下記にまとめる。

- ・朝日新聞 (2019.2.3 25 頁)
- ・毎日新聞 三重版 (2019.1.26 20 頁)
- ・伊勢新聞 (2019.2.9 1 頁, 2 頁)
- ・伊勢新聞 (2019.2.17 2 頁)
- ・中日新聞 (2019.2.21 朝刊 20 頁)
- ・中日新聞 (2019.2.15 18 頁)
- ・真珠新聞 (2019.2.1 4 頁)
- ・真珠新聞 (2019.2.21 4 頁)
- ・真珠新聞 (2019.3.11 1 頁, 2 頁)
- ・伊勢新聞 ヤフーニュース
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190217-00000402-isenp-l24>
- ・CBC テレビ (中部日本放送) ヤフーニュース
<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190217-00010542-cbcv-l24>
- ・志摩市の関連ページ
<http://www.satoumi-shima.jp/event/report/30/2019-in.html>

4. パールズコレクション実施風景

パールズコレクション 1 日目に開催されたファッションショーは 3 部門で構成されており、第 1 部はファッションの学生が 5 つのグループテーマに沿ってデザイン・制作した衣装に志摩のアコヤ真珠のアクセサリを着けた「オリジナルファッション」ショーである

(写真 4)。

第 2 部では志摩市の幼稚園生 2 名がキッズモデルとして、フラワーシャワーを行いながら学生モデルを先導した。その先導に導かれ、ブライダルの学生がウェディングドレスやカラードレスにアコヤ真珠のアクセサリを着けた「ブライダル」ショーである。

最近のブライダルシーンでは、トレンドのアクセサリが真珠からラインストーンやビジュウ、生花といった素材に移行しているが、トレンドに左右されず、歴史と格式のあるブライダルアクセサリとしての真珠の良さを再認識するよう PR しながらランウェイを歩いた (写真 5)。

第 3 部はファッションの学生が普段着として身に着けているカジュアルなファッションに、アコヤ真珠のアクセサリをコーディネートした「カジュアルファッション」ショーである。学生のような若い世代でも、コーディネートの仕方によって格式のある真珠を若々しく着けることができることを PR した (写真 6)。

また、このファッションショーには、三重県立志摩高等学校の生徒 2 名もモデルとして参加しており、高大の連携にも繋がり、また志摩市の若い世代にも真珠のよさや、志摩市の特産物の豊かさをアピールできた。

パールズコレクション 両日においてビューティーの学生は、モデルのメイクとヘア・アレンジ、サイドイベントとして、アコヤ真珠を使用したオリジナルネイル体験とハンドマッサージを担当し (写真 7、8)、製菓の学生は、本学特製オリジナルクッキーを製作し、シンポジウムやパーク内の来場者に配布した (写真 9)。

2 日目は会場を志摩スペイン村エスパーニャ通りに移し、ファッションの学生による「オリジナルファッション」ショーと、ブライダルの学生による「ブライダル」ショーを開催した (写真 10、11)。



写真4. オリジナルファッションショー(1日目)



写真5. ブライダルショー(1日目)



写真6. カジュアルファッションショー(1日目)



写真7. ビューティーによるヘア・メイク



写真8. オリジナルネイル体験



写真9. オリジナルクッキーの配布



写真10. オリジナルファッションショー(2日目)



写真11. ブライダルショー(2日目)

5. 考察

以下は、ファッションショー終了後にファッションの学生から聞かれた感想を要約したものである。なお、コメントの中からキーワードと判断したものに下線を引き、学生の発見の部分を網掛けした。

- A) 短大以外の場所でファッションショーが出来て最高だった。すごくいい経験になった。
- B) 何度もウォーキングの練習をして、決められた時間内に歩けなかったりして、フォーメーションやポージングを何度も考え直した。しんどかったけど、それも吹っ飛ばすほど楽しかった。
- C) 本物のアコヤ真珠は実際に触って、重みと輝きが違った。普段はイミテーションの真珠を着けるけど、本物の真珠が欲しくなった。
- D) 本物の真珠は大人のものだと思っていたけど、私たちのような若い世代でも意外と着けられると思った。
- E) 夕陽祭とパールズコレクションとで2回もファッションショーができた。私は1年のときからファッションショーがしたかったので、2回もショーができて嬉しかったです。
- F) 真珠がこんなに自分たちがデザインした衣装に合うとは思わなくてビックリした。
- G) 真珠を合わせることによって、自分たちの服がグレードアップした感じがした。
- H) 真珠アクセサリを衣装に合わせるということで、真珠に合うように、いちから衣装を作り直した。自分たちが納得いく衣装ができて、ウォーキングに取り組む気持ちも一層入った。
- I) めちゃくちゃ楽しかった!
学外の人に見てもらえる機会なんてないから、すごくいい経験になったと思います。
- J) ショーは大成功だったと思う。
- K) 私はテレビの生放送に出ました！恥ずかしかったけど、こんな経験ができて驚きと嬉しさでいっぱいです。就職してもネタになります！
- L) 充実感はんばない！もっとショーがしたい！
- M) 会場が凄くてちょっと焦った。高いクオリティーを求められていて緊張したけど、みんなで歩いて、ショーが成功して良かった。
- N) 何度も歩く練習をしたのに、本番で失敗して悔しかった。
- O) 自分のことをアピールすることって恥ずかしいけど楽しいと分かりました。
- P) このような機会を与えてもらって、卒業前に貴重な経験になったと思う。最高にいい思い出ができた。

キーワードとしては、図1が示すように「楽しかった・嬉しかった・良かった」が27.4%、「いい経験・いい思い出」が22.7%、「短大以外の場所でできた」9.1%、「最高」9.1%、「充実感」4.5%というように、前向きに捉えたものが72.8%で、学生の満足感や達成感がうかがえる。また、「何度も練習した」9.1%、「考え直した・作り直した」9.1%、「就職してもネタ」4.5%、「悔しかった」4.5%というキーワードもあるが、これは学生自身がファッションショーに懸命に取り組んだからこそ意見であり、これについても前向きな意見であると捉えることができる。

網掛け部分については、「重みと輝きが違った」、「本物の真珠が欲しくなった」、「若い世代でも意外と着けられる」、「自分たちがデザインした衣装と合う」、「自分たちの服がグレードアップした」というキーワードが抽出できたが、これについては、学生が実際にアコヤ真珠を身に着けたことによって得られた発見であるといえる。

キャリアの学生たちがパールズコレクショ

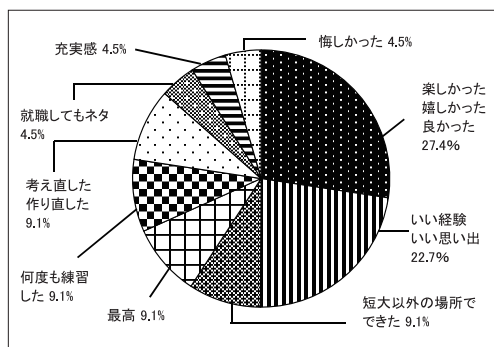


図1. パールズコレクションでの感想キーワード(N=22)

ンにおいて、学外で学習成果を発表することにより、達成感や充実感を得ることができたことは、上記の感想及びキーワードからも分かる。

志摩市の地場産業である真珠養殖や、若者の真珠離れについても学び、若者でもアコヤ真珠を取り入れやすいコーディネート法を検討したり、実際に自身で真珠アクセサリを身に着けることにより、真珠についての新たな発見もあった。

今回のパールズコレクションでは、3部門のファッションショーにおいて、真珠のコーディネートの提案を行うことにより、地域の活性化の役割の一端を担う充実した経験ができたと考える。

ファッションショーのモデルという大役を任された学生たちは、初めての経験にも関わらず終始笑顔を決やさず務めており、高校生モデルやキッズモデルにも声をかけ、緊張をほぐしたりと場の雰囲気を盛り上げていた。また、裏方として参加した学生たちも、積極的に自身の仕事に取り組んでいた。普段の授業の中では見せることのない学生の生き生きとした瞳と、人前でも動じない本番の強さに感心した。

6. 今後の課題

今回開催されたパールズコレクションは2月16日、17日の実施となっており、本学で

は後期授業が終了してからの開催となった。そのため、ショーのウォーキング練習や、メイクとヘア・アレンジの練習、オリジナルクッキーの製作等に取り組む時間の確保が難しく、担当パートによっては、参加する学生数が少ないところもあった。また、パールズコレクションに取り組むための時間も授業として確保されておらず、授業以外の時間をやりくりする必要がある、特にファッションショーを指導する面においては、教員の負担が大きかった。今後は、産官学連携イベント等に使用する科目をひとつ置き、キャリアで同時間帯で開講するよう時間割を組むことによって、各コースで作業を行う時間を持ったり、キャリア合同で打ち合わせやリハーサルを行う時間を持つことができると望ましい。

また、ファッションショー当日、キャリア教員の担当業務がそれぞれあり、裏方スタッフが少なく、写真やビデオを十分に撮影することができなかった。ビデオの制作は記録のためにも、またひとつの作品としても重要であるので、今後は全学的に協力する体制が必要となる。

学生たちにとっても、学外でのファッションショーの実施は初めてであり、ホテル志摩スペイン村のスタッフやパーク内で接する方々、パールズコレクション関係者等に対しての挨拶や態度、一般のお客様の前に出るといった意識を徹底できていなかった。今後、学生の意識を高める指導に力を注ぐ必要がある。

謝辞

パールズコレクション参加の機会を与えて下さった竹内志摩市長をはじめ、志摩市産業復興部水産課の皆様。ファッションショーやサイドイベントに協力下さった三重県立志摩高等学校、三重県立水産高等学校の関係者の皆様。シンポジウムでお世話になった立神真珠養殖漁業共同組合女子部の皆様。三重県東

京事務所政策調整課 渥美貴史様。ネイリストの天白麻耶様。ファッションショー、パネルディスカッションで司会を務めて下さった萬上葉也加様。パールズコレクションのプロデュースをして下さった株式会社アド近鉄の皆様。そして、素晴らしい会場を提供して下さいました株式会社志摩スペイン村の皆様に深謝致します。

引用・参考文献

- (1) 志摩市と学校法人大阪夕陽丘学園との包括連携に関する協定書
- (2) 本学 HP NEWS & TOPICS
http://www.o yg.ac.jp/js/o yg_info/news/2019-01-16-3171/ (2019 年 10 月 17 日アクセス)

*掲載写真 1～3 は志摩市撮影

*掲載写真 4～11 は本学入試広報課撮影